２ 地理歴史・公民

学校番号	1101

令和2年度 公民科

教科	公民科	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　政治・経済」（第一学習社）						
副教材等	「最新政治・経済資料集　新版」（第一学習社）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治分野、経済分野ともに、基礎的な知識を身につけてください
・１年次で学習した現代社会の内容を復習しておいてください

２ 学習の到達目標

・広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート・ノート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 小テスト
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="2">前期</td><td rowspan="2">現代の政治</td><td>１．民主政治の基本原理と日本国憲法</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="2">a:　日本国憲法の三大原理について，憲法の条文と絡めながら，理解を深めようとしている。
　自己の権利を守る必要性と，他者の権利を尊重する義務について，理解を深めようとしている。
　国会，内閣，裁判所の関係と，それぞれの役割について，意欲的に理解を深めようとしている。
　国会で話題になっている出来事について，関心が高まっている。
　選挙制度のしくみや問題点について，意欲的に理解を深めようとしている。
　投票率の低下や政治的無関心の広がりを認識し，主権者として主体的に政治に参加する必要性について，意欲的に理解を深めようとしている。
b:　民族紛争などを例に，複雑な国際関係を，幅広い視点から考察している。
　人種・民族間には文化や宗教の多様性があり、人種・民族問題の解決に向けて，どのような取り組みが求められているか考察している。
　国際平和のために，日本が貢献できることは何かについて，さまざまな角度から考察している。
c:　新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して，国際紛争や民族対立が勃発している地域の情勢について調査している。
d:　集団的自衛権，ＰＫＯ，シビリアン・コントロールなどの用語を理解している
　住民が地方自治に参加する手段として，直接請求があること、住民投票の例をまとめながら，その目的と問題点を理解している。</td><td rowspan="2">授業態度
提出課題
小テスト
ノート提出
定期考査</td></tr>
<tr><td>２．現代の国際政治と日本</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

後期	現代の経済	１．現代経済のしくみと特質	○			○	a: 経済の基本的なしくみについて，意欲的に理解を深めようとしている。 金融政策や財政政策にはどのようなものがあるか，意欲的に理解を深めようとしている。 大企業と中小企業における格差や，下請け関係とはどのようなものか，意欲的に理解を深めようとしている b: 自由貿易と保護貿易の違いや，自由貿易が経済に与える影響を考察している。 円高と円安では，どのような違いがあるのかを，身近なモノを例に考察している。 c: さまざまな地域的経済統合の実情や，ＦＴＡ・ＥＰＡが国内経済に与える影響について，新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d: 現実には，市場の失敗など，価格機構が十分に機能しない場合があることを理解している。 インフレとデフレの意味と物価の変動が国民経済に与える影響について正しく理解している。	授業態度 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
		２．国民経済と国際経済		○	○			
	現代社会の諸課題	１．現代日本の政治や経済の諸課題		○		○	a: 対立する意見などをもとに，多面的，多角的に考察する態度を身につけている。 国際社会が抱えている課題について，関心を高めている。 b: 第１編「現代の政治」，第２編「現代の経済」の学習の成果の上に立って，具体的事例をもとに，それぞれの問題を多角的，多面的に探究し，望ましい解決方法を考察している。 D: 国際社会における諸課題を考える際，国内だけでなく国際的な面からも，また政治や経済の面からも課題を探究する必要があることを理解している。	授業態度 レポート 発表 ノート提出 定期考査
		２．国際社会の政治や経済の諸課題	○			○		

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目

において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。